

令和4年6月23日

学校法人三幸学園
札幌スポーツアンドメディカル専門学校
校長 井口 郁將 殿

学校関係者評価委員会
委員長 八田 則之

学校関係者評価委員会実施報告

令和3年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 八田 則之（株式会社ルネサンス 第一営業部Aエリア エリアマネージャー）
- ② 谷 柚紀（第6期卒業生）
- ③ 吉田 圭介（株式会社シミズ・ビルライフケア）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和4年6月23日 札幌スポーツアンドメディカル専門学校にて開催

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2021 年度 学校法人 三幸学園 札幌スポーツアンドメディカル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 前川 祐一

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 八田 則之

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

施策

- ・目標資格である、「健康運動実践指導者」の合格率向上のために、資格取得に対する動機づけ、全国統一模試の活用、教科担当間の連携を深める。

振り返り

- ・学科としての合格率→15.0% ※2020 年度→66.7%、2019 年度→37%、2018 年度→25.9%
- ・学校全体の合格率→66.2% ※2020 年度→70%、2019 年度→53.3%、2018 年度→45%
- ・学校としての合格率は全国平均を2年連続で上回っているが、スポーツインストラクター科の合格率は大きく低下した(アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科の合格率は向上している)。
- ・要因として考えられるのは、「資格への動機づけ」、「オンライン授業による習熟度の低下」が主に挙げられる。

② 学校関係者評価委員会コメント

(株式会社ルネサンス 八田委員)

オンラインで実技を実施した場合、アライメント評価の不足が予想される。正面一辺倒で実施したのであれば実技の習熟度の低さは予想される。オンラインの質の向上は現場も含めて今後の課題となっている。

(第6期卒業生 谷委員)

自身もオンラインレッスンを経験したが、オンラインが不慣れなことと、カメラが1つだったため、お客様に伝えることが難しく苦戦したので、実技のオンラインは講師側の技術向上も必要。また受ける側も不慣れなので、質問が出にくく、お互いの慣れが必要。学生時代の経験からも実技試験の場合は、ある程度的人数が集まり練習していて中で、疑問を払拭していったほうがいいのではと思う。

(株式会社シミズ・ビルライフケア 吉田委員)

一人での学習の時間も必要だが、友人と教えあう・聞きあう環境も必要だと感じる。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・入学前のスタートアッププログラム（初期教育）、ホームルーム等で継続的に伝えることができていますが、職業に対する意識付けが課題である。

② 今後の改善方策

- ・授業を通じて、職業の魅力、やりがいを伝え、憧れを抱いてもらえるようにする。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・なし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・出席入力の WEB 化により、リアルタイムでの出欠の把握が難しくなった。

② 今後の改善方策

- ・教務事務による、定期的なデータ出力、開示および、紙面ベースでの出欠管理を並行していく。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・なし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

・パンフレットやオープンキャンパスのイメージで入学してきた生徒への職業観の醸成（具体的な業務内容、働く場所のイメージ等）

② 今後の改善方策

・コロナ禍により2年間実施できていなかった、株式会社ルネサンス様（業務提携先）への施設体験実習を再開させ、早期での職業観を醸成させる。

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（株式会社ルネサンス 八田委員）

現場を知らない学生にとって貴重な経験となっている。ただ、スポーツジムに就職したい学生よりもチーム帯同や独立志向の学生も多いと思うので、スポーツジムを見学することにより、職業選択の幅を広げる一端として重要であると考えている。

介護予防施設では、ゼロ未満の運動指導について自治体の実施方法を悩んでいる現状がある。例えば、地域の包括支援センターと提携して健康指導教室を実施するなどすると、地方活性化につながり、学生が社会に必要とされていると感じるのではないか。自治体は厳しい条件（健康運動指導士）などがあるが、教育的観点からアプローチをしていくと良いかもしれない。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格（免許）取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

- ・就職の動き出しが遅い生徒に対しての早期的アプローチ
（クラス担任、就職担当の他に未決定者担当教員を1名配置した）

② 今後の改善方策

- ・生徒の就職活動状況を A～D ランクで管理し、D ランク（ほとんど動いていない）の生徒に対して早期に保護者とも連携をし、活動を促す。
- ・キャリア教育の授業の他に、放課後に任意参加型の就職セミナーを開催（自己分析、面接、企業研究方法等）し、生徒の活動を円滑にするための取組みを行う。

③ 特記事項

- ・2021 年度就職先
株式会社フージャースウェルネス＆スポーツ、株式会社 LIFE CREATE、札幌市スポーツ協会、都市総合株式会社、幼児活動研究会(株)コスモスポーツクラブ、株式会社 ZEN PLACE、キッズ DUO インターナショナル池上等
- ・2022 年度内定先
JR 東日本スポーツ株式会社、株式会社 LAVA international、株式会社フージャースウェルネス＆スポーツ、株式会社 BIRTH47 等

④ 学校関係者評価委員会コメント

（株式会社ルネサンス 八田委員）

今年の募集状況の傾向は、スイミングスクールを担えるのが必須条件になり始めている。コロナ禍において、スイミングとテニスの落ち込みが少なかったことを背景に、採用の際にスクールの担えるという条件が加わり始めている。しかしながら、教えるスキルを求めると人材に限りがあるため、学生自身がスイミングスクールで学んだ経験があるなどで採用をしている。スイミングは習い事 No.1 となっており、社会的意義も高まっている。

自身でトレーニングを実施している学生が増えている。フリーウェイト系でトレーニング（例：週4でジムに通っている）をしている大学生が増えている中で、専門学校生は自身のトレーニングを実践している時間が少ないかもしれない。

（株式会社シミズ・ビルライフケア 吉田委員）

採用をする際に、危険な作業もあるのでコミュニケーションを取りながら安全管理を含めて、現場の業務を見ながら進められる人材を求めている。また中途経験者を雇用すると、業者様に強く当たる場合もあるので、人間性を重視している。新入社員に対しては、東京での研修センターで 3 カ月基本を広く浅く学んでから現場に出している。以前が学歴不問だったが、近年は大学卒（主に電気科や建築科）の採用をしている。

（第 6 期卒業生 谷委員）

欠員補充で採用が多かった。実際に働いているときも、新卒採用と中途採用が半々だった。中途採用は筋トレが好きで、仕事にしている方が多かった。入社当時にスイミングの技術を求められた。「泳げます」と伝えたところ、4 泳法が泳げると判断され、泳げない場合はハードな練習を求められた。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

・なし

② 今後の改善方策

・なし

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・なし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

・なし

② 今後の改善方策

・なし

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・なし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・なし

② 今後の改善方策

・なし

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・なし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・なし

② 今後の改善方策

・なし

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・なし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・なし

② 今後の改善方策

・なし

③ 特記事項

- ・産学連携しているチームが放課後に当校のトレーニングルームを利用しており、トレーナーの指導の下、生徒が実習をしている。
- ・コンディショニングセンターを開設し、AT 科の生徒が希望する姉妹校教員に対して、運動指導を実施している。お世話になっている企業様への案内もしていたが、コロナの再流行により中止となった。
- ・地域のスポーツイベントの再開に伴い、ボランティア活動も活発になってきている。
- ・「サービスラーニング演習Ⅰ・Ⅱ」という科目があり、ボランティア活動がカリキュラムに組み込まれているためスポーツに関わるボランティアに全員が従事している。
- ・全国のリゾート＆スポーツ専門学校で、特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワークと提携しており、1年次は、「スポーツボランティア研修会」を全員が受講し、2年次は選択で、「スポーツボランティアリーダー研修会」が受講できる仕組みとなっている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・なし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【総括】

各自のキャリア像を目指して、明るく、毎日元気に登校し、資格取得・授業への取組み・行事での経験を通して、人間性を育ててほしい。採用を実施していると会話のキャッチボールができるか、場の雰囲気を作れるか、質問に対して適当なボリュームと内容で返答できるかが重要になっている。ぜひ、ボランティアなどを通じて人と接して成長してしてほしい。

以上